

会議録

名称	令和2年度 岸和田市地域公共交通協議会 バリアフリー基本構想分科会 現地点検ワークショップ（春木駅・久米田駅周辺地区）									
開催日時 及び場所	令和2年 10月 29日(木) 1、2班：午後1時30分～午後5時00分 3班：午後2時30分～午後5時00分 春木市民センター 3階 多目的ホール									
出席者 対象委員 27名中 出席22名 (うち代理4名)	日野	鈴木	長谷川	西河	山田	日下	松下	中野	梅澤	芥子
	○	○	○	○	代理	欠	○	○	代理	○
	原(利)	勝藤	岸	奥野	原(博)	榊	岡田	大嶋	宇口	小林
	○	欠	○	○	○	代理	-	-	○	○
	河畑	安野	羽室	川西	葛迫	伊勢	本田	崎谷	梶川	
	○	○	○	○	欠	○	代理	欠	欠	
	<p>オブザーバー 大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課福祉のまちづくりグループ 岩田主任専門員（代理 井阪技術総括主査）</p> <p>事務局 （まちづくり推進部市街地整備課） 高橋課長、森下交通政策担当主幹、吉田主査、北出、笹本</p>									
傍聴者	0名									
<p><<概要>> ■案件 ① 現地点検方法等の説明 ■現地点検ワークショップ ① 現地点検 ② ワークショップ</p>										
<p><<内容>> ■岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会の会議録について 会長より本日の会議録署名人として松下委員を指名 案件 ①現地点検方法等の説明 （事務局） 資料1を用いて説明</p> <p style="text-align: center;">～委員からの意見～</p> <p>（会長） ご質問等無いようであれば、現地点検ワークショップに移りたい。</p>										
<p>現地点検ワークショップ ①現地点検 3班に分かれ、班ごとにチェックシートを用いて現地点検を実施</p> <p>②ワークショップ （事務局） 資料2を用いて分科会の進行について説明 班ごとに、現地で指摘された課題及びバリアフリーに関する意見や意向等について意見交換、 バリアフリー化整備の課題改善に向けた考え方の検討を行い、各班の代表者より発表</p> <p style="text-align: center;">～各班からの発表～</p>										

(委員)

1班は久米田駅について、駅舎、改札、こ線橋、天王寺行き・和歌山行きそれぞれのホームを、また、駅の改札口から一番近い踏切までの歩道を点検した。

まず駅舎の課題としては、道路から駅舎に入る段差が大きく、段差を示すテープが経年劣化で分かりづらくなっている。

駅舎に入ると、改札までの間に券売機があるが、車いすを利用していると、券売機の下に足が入りこむ余地が無く、ひざが突き当たってしまい使いづらい。

案内表示については、古い駅のため、看板にそのまま表示が書かれており、電光表示やスポット照明がついていない箇所がある。目立ちにくく、暗くなると分かりにくい。視力が弱かったり注意力が上に向かなかったりすると見つけづらい掲示物が多い。

ホームは全体が屋根で覆われているわけではないので、乗り場によっては雨をかぶってしまう。エレベーターを使ってホームに上がると、屋根が無い乗り場に出る。

ホームの路面は劣化による凹凸や、かまぼこ状の傾斜が見受けられた。

階段の段鼻はステンレス製でやや滑りやすい。

誘導用ブロックは古いタイプのもので、雨天時は水が溜まりやすく、杖を使われる方や足を上まで持ち上げていない状態だと滑りやすくなる。

こ線橋内には行先表示がなく、どこへ繋がっているのかが分かりづらい。

エレベーターの中のボタンは、「1」「2」「3」という表示だが、具体的に「ホーム」や「こ線橋」と表示する方がわかり易い。また、駅舎自体に駅名を大きく表示していないという課題があった。

以上のように、立場が違うからではなく、誰でも不便なのではないかという課題が出た。大きな改修ができなくても、「路面の凹凸を改修する」「雨がつかないように工夫をする」「モニターや表示の文字を大きくする」「スポット照明をつける」といったことや、掲示を見やすくしたり足元を安全にしたりしていくことが必要ではないかという意見があった。

久米田駅前から踏切までの間の歩道は、経年劣化による路面の凹凸が見受けられ、誘導用ブロックも無かった。隣接する駐車場に照明があるが、道路自体には照明が無い。水路横断箇所を暗渠整備しているが、転落防止柵がない箇所が危険かと思われる。

駅とタクシー乗り場への2つの動線が交差していて、混雑時は健常者でも歩きづらく、ベビーカーや車いす、白杖を使って歩くとなると歩きづらと思われる。

そういったことを改善するために、「照明を追加する」「柵を連続して設置する」「タクシーの乗り入れ部と歩道を区別する」「勾配をゆるやかにする」「路面を修繕する」という意見があった。施設管理者にも整備等の優先順位があると思われるので、後日ご意見があればお聞きしたい。

(議長)

※委員は都合により途中退席済。

それでは、2班の発表に移りたい。

(委員)

2班はまなび中央公園から総合体育館にかけて点検した。

誘導用ブロックが無く動線が分かりにくい箇所や、交差点や横断歩道の前に誘導用ブロックが無い箇所があった。視覚障害者の方の視点としては誘導用ブロックが必要だが、高齢者や肢体不自由の方、ベビーカーにとっては通りづらいのではないかと考えられるため、現状に応じて誘導用ブロックを設置するという考え方を記載した。

誘導用ブロックについて、視覚障害者協会より参加いただいている委員より、次のような意見があった。誘導用ブロックは、あればいいというわけではなく、まず色がしっかり判別できることが必要である。加えて、タイルの中に誘導用ブロックがある、傷んだアスファルトの上に誘導用ブロックがあるといった状況は、白杖を利用した通行ではかなり区別がしにくいとのことだった。

マンホールの周囲などで路面が盛り上がり、改修もしくは、凹凸があることを明示したり、優先順位をつけて整備することが大事である。

まなび中央公園は視覚障害者の方がランニングされることがある。維持管理されている方は、そういった方々が走りにくくならないように、随時補修をしているとのことだった。実際に障害のある方と路面を確認してみるとということが大切である。

横断歩道から体育館に向かう箇所への勾配が少し急であり、若くて力のある方が車いすを押し
てみたが、とても辛そうであった。これに対する改善に向けた考え方として、迂回路を検討し
てみてはどうかという意見が挙げられた。

総合体育館の前の誘導用ブロックは、削れている箇所があった。加えて、まなび中央公園を出
て総合体育館への経路上に横断歩道があるが信号はない。これらについては視覚障害者の方は
情報が得られないということになる。これらに対する改善に向けた考え方は、音声案内の設置
を検討したり、誘導用ブロックが損傷している箇所があれば補修を行ったりするといったこと
が挙げられる。

点検は平日の昼間ということもあり公園利用者は少なかったが、自転車での通行者もあり、少
し危険を感じた。休日は、走っている人や自転車での通行者が多く、子どもがボールを蹴って
いたりすることもあるので、危険な場合も考えられる。利用者の視点として、自転車が公園に
入れないようにすることを挙げた。その為には注意喚起の看板の設置と、ルール作りが必要。
現状は「バイク・スクーターは進入禁止」という表現があるが、自転車は含まれていないので、
調整してはどうか。

公園内は街灯が少ないように思われ、日が落ちると路面まで灯りが届いていない可能性がある。
防犯の観点から街灯の追加が必要と指摘している。

良かった点としては、車いすに乗った際、まなび中央公園はポール同士の間隔が広くて通りや
すかった。視覚障害者の方としては、公園内通路にアスファルト舗装が整備されているのが歩
きやすいとのことだった。

(議長) ありがとうございました。

他にご意見が無いようなので、3班の発表に移りたい。

(委員) 3班は春木駅を点検した。まずなんば方面のホームを点検した後、踏切を渡り和歌山方面のホ
ームを点検した。加えて、こちらの市民センターから春木駅までの間の経路も点検した。
春木駅は2017年に改修された為、バリアフリーの観点からの整備はできている箇所が多いよ
うに見受けられたが、ホームや上屋は未改修箇所があった。改札の周りは整備がされているよ
うだった。

和歌山方面のホームについては古い箇所があり、今後も改修予定があるとのことだった。

利用者の視点として、共通したことだが、駅構内の表示などでは、字が小さいという課題があ
った。視覚障害者の視点としては、「音声の案内が少ない」「聞こえない」、聴覚障害者の視点と
しては、「電車の行先表示の案内が整っていない」ということが挙げられる。行先表示板は順次
設置とのことだった。

その他の課題として、整備ガイドラインの基準に合致していても、実際利用する感覚としては
快適なのだろうかという箇所があった。例えば、ホームの上屋が少し低い箇所があったり、待
合室とホームの柱の間が狭くなっていて車いすが通り抜けにくい箇所などがあった。

(議長) 私も3班の点検に参加した。久米田駅も同様だと思われるが、ホームの誘導用ブロックの表示
について、国や障害者の方々と協議したうえで整備しているそうだが、それ自体にはまだ課題
があるとのことだった。内方線が整備されているが、その上を歩く方は少なく、かといって、
ホームの中心に誘導用ブロックは整備しない。そういった課題の解決策があれば、国にも提案
してみてもいい話もあった。

それでは、今後の予定について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 本日は皆様にご意見をいただきました。ご意見や考え方などについては、事務局で後日集約の上、バリアフ
リー基本構想策定の参考とさせていただきます。また、本日時間内でお伝えいただけなかったご意
見もしくは点検範囲外についてのご意見は、資料3に記載いただき、事務局のほうまでお寄せ
いただきたい。11月10日を締め切りとしている。

(議長) いただいた意見を事務局で集約し、課題を整理して、関係部局と相談の上、とりまとめいた
だきたい。その後、分科会あるいは協議会で報告いただき、皆様からご意見いただきたい。

その他
(事務局) 次回の分科会は令和3年の1～3月頃を予定している。日程が決まり次第、ご連絡するので、
宜しくをお願いしたい。

(議長) 以上をもって、令和2年度 岸和田市地域公共交通協議会 バリアフリー基本構想分科会
現地点検ワークショップ(春木駅・久米田駅周辺地区)を閉会とする。

岸和田市地域公共交通協議会会議運営規程第5条の規定により

令和2年度 岸和田市地域公共交通協議会 バリアフリー基本構想分科会

現地点検ワークショップ（春木駅・久米田駅周辺地区）の会議録をここに署名する。

議 長

署 名

会議録署名人

署 名